

厚生労働科学研究委託費（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業）
「循環器疾患の発症予測・重症化予測に基づいた診療体系に関する研究」
分担研究報告書

研究分担者 小川 久雄 国立循環器病研究センター 副院長
研究分担者 中尾 一泰 国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門 医師
研究分担者 宍戸 稔聡 国立循環器病研究センター 研究推進支援部 部長

研究要旨：我が国においては、全国レベルでの包括的な循環器疾患登録は存在していないのが現状である。全国規模の脳・心血管疾患登録の整備のために、循環器データベースとして、循環器疾患診療実態調査（日本循環器学会主導）を公的機関である国立循環器病研究センターにおいて運営した。

A．研究目的

我が国における循環器疾患診療実態調査と脳卒中データバンクの心・脳疾患データをナショナルセンターにおいて運営・統合し、全国規模の疾患登録の整備を行う。集積された大規模データを用いて、発症・重症度予測モデルの開発、Quality Indicator(QI)を用いたプロセス・アウトカム指標を中心とした医療の質評価を行う。最終年度には、リスク予測モデルを活かした診療体系の構築を目指す。

B．研究方法

循環器疾患診療実態調査：The Japanese Registry Of All cardiac and vascular Diseases (JROAD)は、1)施設概要、2)検査や治療の実施状況から構成されている。1)は、我が国の循環器医療の供給度、2)は循環器医療の必要度（需要）を示しており、我が国の循環器の診療レベルを示す一次情報を提供している。2013年度よりJROADのデータセンターは国立循環器病研

究センターにおかれ、WEBを用いて調査項目に回答する形式をとっている。2014年調査では、循環器科・心臓血管外科を標榜する施設を対象に調査が行なわれた。特に循環器専門医研修施設・研修関連施設、合計1327施設に関しては登録率100%を達成した。

C．研究結果

調査期間は2013年1月1日~12月31日で、急性心筋梗塞の総入院患者数は67,918例/年(2012年；69,235例/年)、その入院中死亡数は5,838例/8.6%(2012年；5,576例/8.1%)であった。緊急および待機的冠動脈インターベンションは各々69,254件/年(2012年；68,459件/年)185,072件/年(2012年；184,072件/年)一方on-pumpおよびoff-pump冠動脈バイパス手術は各々9,390件/年(2012年；9,343件/年)9,916件/年(2012年；10,002件/年)であった。心不全総入院患者数は229,417例/年(2012年；212,739例/年)、心大血管疾患リハビリテーション実施件数は2,420,154

件/年（2012年；1,988,181件/年）と増加傾向を示した。

D．考察

JROAD 調査は、日本全体の循環器疾患の診療実態を知り得る、非常に貴重なサマリーデータである。

しかし、このデータを活用し、診療レベル評価を行うような場合、単純な死亡率等のアウトカム評価に加えて、患者レベルでの重症度の調整（いわゆる risk adjustment）や、Quality Indicator などに代表されるエビデンスに基づく診療行為を適正に行えるかの評価（process measure）などが必要となってくる。例えばより専門性の高い病院においては、より重症な患者が運ばれるため、死亡率が相対的に高くなってしまふことが起こり得る。多彩で複雑な評価を行う際には、処方、処置内容による予後評価など、患者個人レベルの情報が不可欠であると考えられる。そのため今後、循環器疾患診療実態調査参加施設の協力（任意）のもと DPC（Diagnosis Procedure Combination；診断群分類包括評価）データを収集し、データベースを構築する展望が期待される。DPC システムにより処方、処置内容、患者重症度の指標などについて標準化された記録が、大規模病院において行われている。日々の診療で多忙な専門医の時間を奪うことなく、質の高い情報を日本全体について得られる点が DPC データ収集のメリットの一つであると思われる。

E．結論

JORAD 調査は、今後 DPC データとの組み合わせにより、悉皆性の高い“ビッグデータ”として、今後循環器医療の質を向上させていく役割を担っていくことが期待される。

F．研究発表

1. 論文発表
なし
2. 学会発表
 - Anzai T, Nagai T, Sugano Y, Ohara T, Kanzaki H, Asaumi Y, Noguchi T, Kusano K, Yasuda S, Ogawa H. Nationwide registry of heart failure with preserved ejection fraction-JASPER study. 第18回日本心不全学会学術集会シンポジウム22 循環器領域におけるビッグデータの作り方. 2014年10月 大阪

G．知的財産権の出願・登録状況

（予定を含む。）

1. 特許取得
とくになし
2. 実用新案登録
とくになし
3. その他
とくになし